

平成30年度行政評価の結果等について

1 本市の行政評価の概要

- ・ 総合計画で掲げた長期的な目標の達成度を、包括的・体系的に評価するため、「政策評価」「施策評価」「事業評価」の3階層で構成する。
- ・ 本年度実施する行政評価では、「第5次宇都宮市総合計画後期基本計画」の最終年度（平成29年度）が対象となることから、当該計画の体系・評価方法に基づき評価を実施した。

評価の種類	概要
政策評価	総合計画基本計画の政策体系に基づき、基本施策における目指すべき市民生活の状態の達成度を測り、市民満足度の向上を目指すもの （「第6次総合計画基本計画」の策定に向けて、「第5次総合計画後期基本計画」最終年度を見据えた総括評価として平成28年度に実施済）
施策評価	基本施策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの
事業評価	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの

〔参考〕 施策評価の評価方法

- ・ 各施策について、3つの評価指標に基づいて多角的・総合的な評価を実施
- ・ 評価は、点数化による定量的な評価によって客観性を確保

《評価指標の概要》

評価指標	概要
①施策指標の達成度	総合計画基本計画に掲げる施策指標の達成度を評価
②市民満足度の推移	市民意識調査結果において、各施策の満足度について「満足」又は「やや満足」と回答があった割合（市民満足度）の推移を評価
③主要な構成事業の進捗状況	総合計画基本計画のまちづくり戦略プロジェクトや主要事業から、主要な構成事業として選択した事業の進捗状況を評価

《評価点数の考え方》

評価指標	評価の区分 [点数]		
①施策指標の達成度	A 達成度90%超 [33点]	B 達成度70%~90% [25点]	C 達成度70%未満 [15点]
②市民満足度の推移	A 前年度より向上 (+5ポイント超) [33点]	B 前年度同水準 (±5ポイント以内) [25点]	C 前年度より低下 (-5ポイント超) [15点]
③主要な構成事業の進捗状況 (原則5事業を構成事業に設定)	A 計画以上 (2事業以上が「計画以上」 の場合(「計画より遅れ」の 事業がある場合を除く。)) [33点]	B 計画どおり (主に4事業以上が 「計画どおり」の場合) [25点]	C 計画より遅れ (2事業以上が 「計画より遅れ」の場合) [15点]
総合評価	順調 [90点以上]	概ね順調 [65点以上90点未満]	やや遅れている [65点未満]
①②③の組合せ (点数)	AAA (99点) AAB (91点)	ABB (83点) AAC (81点) BBB (75点) ABC (73点) BBC (65点)	ACC (63点) BCC (55点) CCC (45点)

2 評価結果の総括

(1) 施策評価（各施策の評価については別紙1参照）

【総合評価について】

84施策のうち、現時点で指標値が得られない施策を除く83施策においては、「順調」が6施策（7.2%）、「概ね順調」が77施策（92.8%）であった。

【個別の評価指標について】

- ・ 「施策指標の達成度」については、84施策に設けられた134の指標のうち、A評価が90指標、B評価が28指標、C評価が14指標であった。（その他、現時点で集計中の指標等2指標）
- ・ 「市民満足度の推移」については、84施策中82施策で「前年度より向上」又は「前年度同水準」で推移している
- ・ 「主要な構成事業の進捗状況」については、84施策全てにおいて「計画どおり」の評価であった。

【総合評価の結果概要】

区分	H30 施策数 (割合)	H29 施策数 (割合)
順調	6 (7.2%)	6 (7.2%)
概ね順調	77 (92.8%)	77 (92.8%)
やや遅れ	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	83 (100.0%)	83 (100.0%)

【主な施策分野の状況】

区分	施策No.	施策分野	①施策指標の達成度	②市民満足度の推移	③主要な構成事業の進捗状況	総合評価
A評価が2つある施策	5	高齢者の生活支援の推進	介護認定を受けていない高齢者の割合 目標 86.3% / 実績 84.4% 達成度 97.8%	22.3%⇒ 28.3% <+6.0>	計画どおり	順調 (91点)
			【A】	【A】	【B】	
	15	防犯対策の充実	①市内における人口千人あたりの 刑法犯認知件数 目標 11件 / 実績 7.8件 達成度 141.0% ②日常生活において犯罪の被害に 遭う不安を少しでも感じる市民 の割合 目標 50% / 実績 49.2% 達成度 101.6%	38.5%⇒ 43.6% <+5.1>	計画どおり	
			【A】	【A】	【B】	
	62	良質な農林産物の生産・普及の促進	うつのみや地産地消推進店数 目標 120店 / 実績 136店 達成度 113.3%	37.5%⇒ 43.3% <+5.8>	計画どおり	
			【A】	【A】	【B】	

(2) 事業評価

- ・ 878事業のうち、各事業の今後の方向性として、「継続」が815事業（92.8%）、「見直し（予定を含む）」が63事業（7.2%）となっている。（見直し対象事業については別紙2参照）
- ・ 見直し対象事業については、人口減少や人口構造の変化に的確に対応するために重点化した取組である、「不妊治療費助成の拡充」や「産後ケア事業の実施」等の子育て分野のほか、「地域産業活性化支援事業」や「起業家支援事業」、「本社機能等立地支援制度」等、産業分野に係る事業の拡大が多くなっている。
- ・ 引き続き、改善等に努めながら、効果的・効率的な事業執行を図っていく。

[事業評価の概要]

区 分		H30 事業数 (割合)	H29 事業数 (割合)
継 続		815 (92.8%)	794 (91.3%)
見直し (予定を含む) 別紙2	拡 大	35 (4.0%)	32 (3.7%)
	改 善	13 (1.5%)	19 (2.2%)
	縮 小	1 (0.1%)	2 (0.2%)
	廃止・終了 (統合を含む)	14 (1.6%)	23 (2.6%)
	小 計	63 (7.2%)	76 (8.7%)
計		878 (100.0%)	870 (100.0%)

※ 平成29年度に「見直し（予定を含む）」とした76の事業のうち、72事業については見直しが実施され、残り4事業については、見直しに向けて、引き続き、平成30年度も「見直し（予定を含む。）」として区分している。

3 日本一施策事業について

(1) 選定状況について

- ・ 市民が誇りや愛着を持てるような、全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）を創出・推進するため、平成29年度までに実施された取組から70事業（新規6，継続64）を選定した。（新規選定取組については別紙3参照）
- ・ 昨年度までに選定した事業のうち、多くの自治体に取組が普及した事業等については、今年度の選定から除外した。

(2) 日本一施策事業の活用等について

- ・ 本市において独自・先駆的に取り組んでいる「宇都宮ブランド戦略事業の推進」や『「自転車のみち宇都宮」の推進』などの事業は、多くの自治体から視察を受け入れるなど、本市の発信力の向上に寄与している。
- ・ 今後とも、本市ならではの特徴ある施策・事業を創出・推進し、広くアピールすることによって、本市の魅力をもっと向上させ、東京圏からの移住・定住の促進などの取組に活用していく。

[選定の区分と考え方]

区 分	考 え 方
トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの
独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの

[新たに選定した主な取組]

区 分	取組の考え方	主 な 取 組
トップクラス	活動量やその成果などが、客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの	<p>◆ F I B A 3 × 3 ワールドツアー宇都宮マスターズの開催 F I B A (国際バスケットボール連盟) が主催する国際大会「F I B A 3 × 3 ワールドツアーマスターズ」のうち、アジア地区代表を決める「宇都宮マスターズ」をバンバ市民広場及び二荒山神社参道において開催するとともに、国内トップリーグ「3 × 3 プレミア・エグゼ」をオリオンスクエアにおいて開催 ⇒ 日本で唯一、F I B A が主催する、世界トップクラスの選手による3人制バスケットボールの世界大会</p>
独自性	宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの	<p>◆ 大谷地域資源活用事業 (冷熱エネルギーを活用した大谷地域の振興) 大谷地域の各エリアにおける冷熱エネルギーの最適な活用方策について、官民が連携し、実証調査を踏まえながら整理するとともに、冷熱利用の本格化に向けた民間の取組を支援 ⇒ 大谷ならではの資源である冷熱エネルギーを活用した取組</p>
先駆的	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国の先駆けとなるもの	<p>◆ ネットワーク型コンパクトシティ推進に向けた市街化調整区域の土地利用の推進 立地適正化計画による市街化区域の都市機能誘導等の取組に加え、市街化調整区域内にスーパー等の立地誘導を図るための床面積の緩和や居住地形成を図るための地区計画制度の類型化等を実施 ⇒ 人口減少社会を見据え、本市の特性を活かし全国に先駆けて推進する取組</p> <p>◆ 全小中学校へのインターネットバンキングの導入 教材費等の学校徴収金の管理運用において、直接金融機関へ出向くことなく、金融機関への口座振替依頼や振込などの出納処理を実施できるよう、市内全小中学校でインターネットバンキングを導入 ⇒ 学校徴収金の管理運用におけるインターネットバンキングの全市的な導入は全国に先駆けた取組</p>

4 評価結果の活用及び今後の取組

- ・ 本年度実施した「第5次宇都宮市総合計画後期基本計画」最終年度の評価の結果については、「第6次宇都宮市総合計画」策定後、最初に策定する今年度の実施計画や予算編成、行政改革の推進、補助金等の見直し等に活用していく。
- ・ また、平成31年度より、「第6次宇都宮市総合計画」の施策体系・目標による評価に移行することから、新たに設定した「基本施策指標」－「成果指標」－「産出指標」という3階層の指標の特性やこれまでの評価制度の分析等を踏まえ、今後、より効果的な評価制度を構築していく。